



2026年

二葉幼稚園

園のたより



6月の聖句

みよ それはきわめてよかった

そうせいき1章31節

6月のさんびか

このはなのように

こどもさんびか改訂版115

さわって / 考えてみよう 

土曜日の夕方、強風でワサビネット(UV屋根)が滑り台上部の板に擦れていました。設置したばかりの高価なネットが破れては大変！と滑り台に登り、応急処置をしているとどこからか「園長せんせ〜！」と呼ぶ声。円柱の中からは姿が見えません。「は〜い！だあれ？」「きゃ〜、ケラケラいた〜！」「返事した〜！キャハハハ」「♡で〜す」「☆で〜す」何と中学1年生3人。「誰もいないと思ったけど、呼んでみたらいた！」ですって！「遊んでいく？」と尋ねると「やったあ！」と即答。3人は竹馬をして、うさぎのゆきちゃんに会って、ボールで遊んで「なっつかし〜」そこで「幼稚園で何が楽しかった？」と聞くと「ぜんぶ！」「お泊り保育」「パラバルーン」「ルイボスティー！」というので皆でルイボスティーを飲みおやつを食べ、丁度、伊丹教会で毎土曜日4時から実施している「にぎちゃんのボランティア学習塾(無料の上炊きたて☺️が出るんです!)の最中だったので、そちらへ案内しました。

また別日「せんせ〜、今日めぐみ(延長保育)ないの〜？」と小3の☹️君。「剣道行く前にちょっと遊んでいい？」剣道着を着た凛々しい姿でひとしきり遊んだ☹️君。「また来るわ」笑顔眩しく元気に走っていきました！子ども達にとって、園がふと立ち寄れる安心な場所であることを嬉しく思います。

園では恒例、泥んこ遊びが始まりました！入園までは外で裸足になる事も泥もさわらなかった子ども達が泥まみれになって遊びこお友達や先生達を見て「え？こんなことしていいの？」「え？それって楽しいの？」色んなことを感じながら考えながら、「僕しない」「私する〜」各々の意思で様々な遊びを楽しんでいます。「今や公園で泥んこはできないし、園だと友達と一緒にできるから、とっても楽しいみたいで」とあるお母さん。改めて納得。園での3年間で泥んこ体験も変わるかもしれません。

今年は年長さんが地域の公園清掃(ゴミ拾い)にも出かけました！園庭で子ども達は保育者が見つけられない小さな宝物をよく見つけること、お当番やお手伝い等誰かの役に立つことで喜びを感じる事、子ども達の大好きな理事長先生が人知れず毎朝地域の清掃をされていること等から、私達も地域に役立つことができないかと考え、チャレンジしています。一見、きれいに見えていた公園でも、あっと言う間に「見つけた〜」「〇〇あった〜」とハッスルする子ども達はさすが！幼少期の皆でこんなことした！楽しかった！という小さな経験が心のどこかに響いて、いつかは環境問題や皆の地球を大切に！なんて繋がって考えられたら、と願います。

年中さんでは、雨の日の体育遊び、ホールで体育講師と一緒にフープを用いたふれあい遊び。色んな乗り物になって満面の笑顔で伸び伸び駆け回る子ども達。友達と繋がったり、フープをコマのように回したり、と目いっぱい遊んで、帰宅すると珍しくぐっすり昼寝をした子どももいたそう。

年少さんは初めての「モグモグほっこりデー」が大好評！「おいし〜」と2個の予定が、3個、5個、7個！！のおかわり合戦！家では食べないお野菜もお味噌汁もしっかり味わい、「家でも食べるようになったんです！」と嬉しい報告が続々と。6月もふたばっこ「皆で」楽しみましょう！【園長】